

カルホス[®] 乳剤

樹木類のケムシ類防除

マイマイガ



アメリカシロヒトリ



チャドクガ



モンクロシャチホコ



保土谷UPL株式会社

カルホス[®] 乳剤

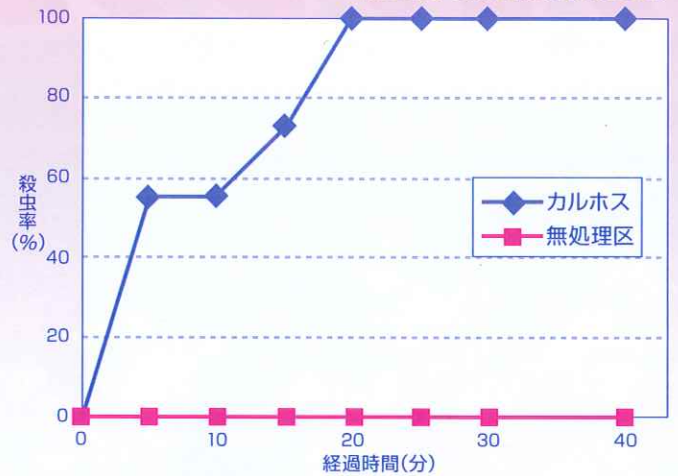
- 有効成分：イソキサチオン…50.0%
- 人畜毒性：医薬用外劇物
- 包装：100ml×60本、500ml×20本

特長

- 広い殺虫スペクトラムをもち、活性持続効果が優れています。
- 接触毒と食毒の両作用により、幅広い害虫に有効です。
- 作物への吸収移行がないので、残留・残臭が少ない殺虫剤です。
- 悪臭や刺激性が少なく、また薬害の心配がほとんどない、使いやすい薬剤です。

■カルホス乳剤のマイマイガに対する殺虫活性(接触効果)

保土谷UPL(株)筑波研究所(2015)



■適用病害名及び使用方法(抜粋)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	使用方法
樹木類 (まさき、もっこく、 すぎを除く)	カイガラムシ類 ケムシ類	1,000	200~700 ℓ/10a	—	6回以内	6回以内	散布
まさき	カイガラムシ類、ケムシ類 ユウマダラエダシヤク						
もっこく	カイガラムシ類、ケムシ類 モッコクハマキ						
すぎ	カイガラムシ類、ケムシ類	50~100	樹皮表面積 1m ² 当り600mℓ	成虫発生 初期	4回以内		樹幹散布
	スギザイノタマバエ						
芝	スジキリヨトウ	1,000	0.5~2ℓ/m ²	発生初期	6回以内		散布
	シバツトガ、シバオサゾウムシ ケラ、コガネムシ類 タマナヤガ幼虫		1~2ℓ/m ²				
	チガヤシロオカイガラムシ		0.5/m ²				

⚠ 効果・薬害などの注意(抜粋)

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 芝に使用する場合は、土壌面まで濡れるように十分な液量を散布してください。
- すぎのスギザイノタマバエ防除に使用する場合は、成虫の発生初期に地上3mの高さの樹幹部に樹皮表面積1m²当たり600mℓを標準として散布してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - (1)ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
 - (2)受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - (3)養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意するなど、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 自動車・壁などの塗装面、大理石・御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
 - 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
 - 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受けてください。
 - 皮膚に対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - 薬液調製時及び使用の際は、保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
 - 街路・公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
 - ハウスで使用する場合は、換気に十分注意し、薬液がハウス内にこもらないようにしてください。使用後は十分に換気し、入室してください。
- 治療法：本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。水産動植物への影響：水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう処理してください。
- 保管：密栓し、火気を避け、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。
※空ピンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は、平成27年8現在の登録内容に基づいています。

製造



保土谷UPL株式会社
東京都中央区八重洲二丁目4番1号

取り扱い